

スピリチュアル物語

99話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリOTT内スターボックス(要予約):1時間 \$70

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$22/1件(Paypal)



「え?でも、お金はある程度は貯めておかないと不安なのでは?」マジヨリアルという言葉に、「そうじゃな、ある程度はな。備えあれば憂いなし、とも言うし、蟻とキリギリスの話も教訓じゃ」「僕はその点安泰だよ。話が長引いていて、忘れちゃっている読者の為にここでおさらいすると:僕は実はAgave^{アガヴェ}王国の王子だからね。僕はお金というものを自分で使ったことはないし、お財布さえ持ってないよ。そう言えば、お嬢さんもお財布持ってないよね?何処かのお姫様だったりして?」「え?お姫様?ん〜」ウイザット

の言葉にマジヨリアルは頭を抱えて唸り出した。「ああ、ごめん、お嬢さんは記憶喪失だったね。ところで、お財布ってそもそもどうして必要なんだい?」「流石王子様じゃ。それを疑問に思うとは」「お財布はお金を入れる容れ物として必要なんじゃないかしら。鞆やポケットにお金がバラバラに入っていたら取り出し難いから」「それに、お金は人々の間を巡って来るものじゃから、一説に扱えば、お札にはトイレよりも沢山の菌が付着しているとも言っし、鞆やポケットに直接入れないほうがいいのかも知れんぞ」「きゃあ

」マジヨリアルが叫ぶ。「菌のレベルのみならず、スピリチュアル的に見ても、お金には様々な念が付いている可能性がある。るので、戴いたお金や釣り金はひとまず隔離する意味で財布にしまい、家に帰ってから本格的に浄化をしたほうがいい」「お金の浄化?」「そうじゃ、やり方としては…」



★これまでのお話(1~98話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 12月13日号につづく